

友だち募集中

全厚労公式  
LINEでも  
ニュース配信中!



# 全厚労ニュース

全 国 生 産 者 連 合 会  
労働組合連合会  
〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5  
TEL 03-3874-3591  
FAX 03-3874-3593  
発行日 毎月20日  
https://www.zenkouro.org/

北厚労

## 全国に先駆けてベア獲得

### 医師抜き 1.81% 5,291円相当

他産業では、大幅ベア引き上げが相次ぐ25春闘は、医療・介護分野では厳しい状況が続き、全厚労でも賃金交渉が長引くところも出ています。そんな中、北海道から4月30日団交、5月1日（メーデーの日・4面参照）にベア獲得で妥結の報告が飛び込んできました。

北厚労では、25春闘にてベースアップ医師込みで1・6%を要求し、医師込み1・47%（組合員平均4847円相当）を勝ち取りました。北厚労として例年実施しているベア獲得のための取り組みについて、3点（①経営協議会の開催、②情勢の調査③要求額の妥当性）を挙げさせてい

①は会側との経営協議会を開催し、年度末見込みの収支状況の把握や、今後の経営方針、物価上昇への対応などについて確認しています。②情勢の調査として、人事院勧告により公務員給与や消費者物価指数の変動を調査し、③会の経営状況を鑑み、ベア要求額を生活水準の向上を目的とすべきか、最低限の水準維持に必要な分に留めるのかを判断しています。2024年度においては、経営状況が厳しく、年度末収支状況も大幅な赤字を見込んでいました。しかし、消費者物価指

数は上昇しており、人事院勧告では公務員給与の引き上げが実施されており、ベア要求は必要と判断しました。ただし、経営状況を鑑み要求額を必要最低限として、一年間の消費者物価指数の上昇分から定昇分を差し引き、要求額を決定しました。根拠を持った妥当性のあ

北厚労中央副執行委員長 小見山聡史

#### 新厚労小千谷支部 小千谷市長らと懇談

### 医療充実に向けた展望を聞く

4月4日（金）に「ホントカ。」（小千谷市）で支部から5名が参加して長谷川有里小千谷市議を通じて宮崎悦男小千谷市長らと懇談をしました。

組合からは、病院で働く職員の現状や診療科個々の抱える問題を訴えるとともに、市長からは小千谷市の抱えている医療の問題点や今後の医療の充実に向けた将来展望について聞くことができました。

（新厚労書記局通信No.10より）



小千谷市長（中央）との懇談

#### 広厚労尾道支部 尾道市議会議員と懇談

### 子どもが産め、定住できる地域へ

広厚労尾道支部では4月17日（木）に組合事務所にて尾道市議会議員の佐藤志行議員、村上久美議員と面談を行いました。

看護師不足による一部病棟閉鎖、近隣産科減少による影響、医療従事者へのハラスメントの現状などを伝えました。佐藤議員からは「看護師不足は認識している。安心して子どもが産める環境を整え定住できるように我々が出来ることをしていきたい」村上議員からは「私も看護師として働いていたので現場はわかります。何か対策をしていきたい」と前向きな言葉を頂きました。また医療従事者増員署名にも賛同して頂きました。広厚労では全厚労スローガンである「動いて、動いて、動いて」を実践し活動していきたいと思ひます。



尾道市議会議員と懇談（前列左から2番目が佐藤議員・中央が村上議員）

### 全厚労 シンボルマーク決定

全厚労シンボルマークが30を超える応募作品の中から第7回拡大中央執行委員会での投票で、決定しました。授賞は山口県長門総合病院のOTさんの作品です。テーマは「人と人のつながり」思いやりをイメージできる雰囲気になるよう作成し、JAらしく緑と稲穂を表しています。これからいろいろな場面で使用していくのはもちろん、グッズ作成も計画していますのでお楽しみに。



全厚労シンボルマーク 授賞作品

# 石田昌宏参議院議員と懇談

## 「賃金あげろ」の気持ちは同じ

5月16日全厚労は第7回拡大中央執行委員会を開催。会議には、この間国会議員への要請行動等で度々意見交換をしてきた日本看護協会出身の参議院厚労委員 石田昌宏議員（自民）に、医療・看護政策課題や展望についてお話し頂きました。

### 地域医療 守る春闘に

意見を交わしたいと参加者に向け話しました。



日本医療労働会館にてお話しされた石田議員

冒頭で岩本中央執行委員長は、出産や育児費用の無償化や補助はあるべきと思うが、いま実際に若い人たちが子どもを産み育てる施設が地域にあるのか、と問いかけ「産み育て暮らしていく環境を地方に作っていくためには厚生連や地域の存続は難しい。地域の病院を守るためにも我々は春闘を闘っていきたい。今年には組織が妥結せずにはアア相当分を粘っている気概がひしひしと伝わってきている。情報共有しながら協力していきたい」と挨拶しました。また石田昌宏議員との懇談について、看護師の賃金労働条件について労働組合と思いを同じくしている所が多々あり、活発に

### 制度と予算 変える動きを

意見を交わしたいと参加者に向け話しました。

石田昌宏議員は、看護師として内科、精神科、訪問看護で難病患者の在宅ケア等を行ってきたこと、また議員秘書を行った経験から日本看護協会の政策企画部門の立ち上げ、看護連盟から国会議員へ立候補した経歴を紹介。コロナ禍で医療従事者への感謝・関心が高まり医療従事者の賃金をあげる動きに国民の同意が得られる環境が整ったと感じ、慰労金から始まり賃上げへ向けて、この間動いてきたことを話されました。

自民党議員が労働組合の前で話すことに対し、自身に抵抗感はないと話され、看護師として働く労働者側の立場で「賃金をあげろ」という明確な目標をもっていること。個別の賃上げは労使の関係で決めることで制度的なバックアップは作れたとしても、それぞれの職場でどう使われるかは今後もストライキを含め色々な手段で賃金闘争を行ってほしいと呼びかけられました。

コロナが終息してから物価高の状況に対して、多くの病院で増収しても支出増で結果として利益が上がらない状況になっていると触れ、「災害等が起きたときのバッファがなく病床稼働率をあげ

たところで職員数は変わらず限界まで来ている状況」と、労働組合と認識が同じであることを強調し、自民党内でも危機的な状況を乗り切るための策を提案していると紹介されました。

一つに、物価が上がれば診療報酬も相応して上がるものにしていくこと。仕組みを作れば可能ではあるが、財務省の抵抗が激しく「もっと力を付けなくては」と拳を握られました。また医療機関の状況を鑑みてコロナ後3年連続の赤字となれば銀行融資の姿勢が変わり、経費（人件費）削減が起きる。年内ボーナス（一時金）で反映できるような予算を取っていくことが課題と話し、「ターゲットは経営者ではなく制度と予算。それぞれの立場で発言なり行動をしていければと思っ

## ドクター山本晴義の心の相談室(13)



山本晴義先生

うつ病と適応障害の違いと見極め方  
何らかの生活の変化やある特定の出来事の原因として、普段の生活が送れないほどの気持ちの落ち込みや不安、心配が強くなり、今いる環境に適応できなくなった状態を適応障害といいます。

うつ病と症状はともよく似ています。見分け方のポイントは、ストレスの対象から離れたときに抑うつ状態が続くかどうか、です。適応障害の場合、私生活でパートナーから精神的なハラメントを受けている場合など、ある程度特定の出来事が原因とわかっているときに心身に不調が引き起こされる状態です。

うつ病と症状はともよく似ています。見分け方のポイントは、ストレスの対象から離れたときに抑うつ状態が続くかどうか、です。適応障害の場合、基本的にはストレスの原因と思われることから離れるなど、環境調整が一番の治療になります。少し職場や学校から離れて休み、配置転換などを希望してようすを見るのも一つです。

環境が変わりやすい春から夏にかけては、いつもより自分の心や身体のようにすに気を付けて、睡眠を多めにとるなど、心身を休める時間を積極的にとりましょう。

合は、うつ状態の最中でも、楽しいことがあれば楽しいですが、うつ病の場合はそうはいきません。よく「のせいで心が折れてしまった」と言いますが、これなどはまさにストレス要因によって引き起こされた状態で、適応障害といえるでしょう。適応障害の場合、基本的にはストレスの原因と思われることから離れるなど、環境調整が一番の治療になります。少し職場や学校から離れて休み、配置転換などを希望してようすを見るのも一つです。

## 物価高・人件費高の今の時代に

診療報酬があがらず、頑張っても病院の収入は増えない

人件費を圧迫!

消耗品や機器や委託費など物価や光熱費が大幅上昇

看護職の処遇改善には、  
・診療・介護報酬のアップと  
・そのしくみの抜本的な  
改革が不可欠

直近のことですら、大きく変わらなければならない

石田昌宏議員資料から抜粋

## 徳島 病院祭おおにぎわい

5月10日、徳島県厚生連阿南医療センターで開院記念イベントとして病院祭が行われました。

開催には地元選出の仁木博文副厚労大臣より祝辞を頂きました。

市民公開講座、看護の日イベント、阿南消防による救急搬送見学、職員とゲストによるコンサート、キッチンカー、マルシェ等多くの催し物で子どもから高齢者の方々、約500人のお客さんが訪れて多いに盛り上がりました。



プロフェッショナルの仕事を間近で見学

### 頑張る仲間

# 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。  
第206回は熊谷・大分をお願いします。



熊谷 井田大輔さん

熊総労で執行委員を務める井田大輔さんです。

井田さんは熊谷総合病院で勤め始めて4年目となります。現在は内科病棟にて勤務され日々のリハビリ業務をこなしております。急変対応に関わる患者さんが増えたことをきっかけに、落ち着いた対応ができるようにしたいと急性期ケア専門士の資格取得に向けて勉強中です。

組合活動でも青年部長や執行委員を中心にサポートしながら新人歓迎会を成功させようと準備を進めている段階です。

休日はサッカー観戦や1人で温泉に行くことが趣味だそうでプライベートを充実させているそうです。

はじめまして。このたび執行委員に加わりました吉里です。

私はコロナ禍の中、TOKYO2020の聖火ランナーを務めさせていただきました。看護師という立場で、人が集まるイベントに参加するという葛藤もありましたが、今ではチャレンジして良かったと思っています。

組合活動は初心者ですが、聖火のように、困難な中でも皆さんの想いを繋いでいけるよう努力してまいります。どうぞよろしくをお願いします。



大分 吉里路津子さん

- ヨコのカギ
- 歌麿・写楽・北斎・広重と言えは？
  - 周辺を警戒する……番
  - 目に見える範囲
  - 台所用品などに使われるサビにくい鋼材
  - 陶器作りに使う回転台
  - わらで作ったロープ
  - 物事を進める方向
  - 卵で食べられない部分
  - 唐辛子は、……願寺
  - 肉体的、精神的な緊張や圧迫。……がたまる
  - 「N」で表す方角
  - 物のある所。宝の……
  - 運動競技者
  - 紙……。ボロ……
  - 布などをぬう機械
  - 「鬼灯」の読み方は？
- 当選者（読者の声掲載者含む）15名様に図書（クオ）カードを差し上げます
- 答えと本紙の感想などを添えて下記まで先へお送りください。  
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。3月号の答えは「しゃぼんだま」で、当選倍率は3・9倍（クロスワード・間かせて、読者の声計15名当選）でした。

## ザ・クロスワード

出題▶モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
		D	🐼		
7		🐼	8	9	
10		11	🐼	12	🐼
🐼	13		14		15
16		🐼	17		18
	🐼	19		🐼	20
22	23			24	🐼
26				27	

🐼 = 熊 (Kuma)

答 A B C D E F

- 【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？
- タテのカギ
- ……の正面だあれ
  - 「台本」「シナリオ」とも言います
  - LやMよりも小さい人々の間に伝わる昔話
  - よい天気です
  - 企業の人員削減
  - 貸しビルなどの借り主
  - 厳寒に咲く……梅
  - 姉妹を英語で言うとは？
  - ごく軽いヒフのきず
  - 米国フロリダ州の海岸
  - で有名な観光保養都市
  - 中がほぼ生のステーク
  - 中国の神話上の動物
  - ……も山のにぎわい
  - 握り・押し・五目など
  - 歩いて行くこと

## 読者の声

栄養科勤務の者です。最近あった良いことは、患者さんに食事が美味しいと喜ばれたことです。栄養科は慢性的な人員不足で、毎日の食事を提供する上で精一杯ですが、患者さんからの喜びの声を活力になっています。（福島）

——この部署も人員不足で疲弊しています。患者様からの労いの言葉嬉しいですね。これからもお互い頑張りましょう。（OG）

出産後も働き続けたいと思います。（三重）

——おめでとうございます。働きやすい職場、とても良い事だと思います。お体を大切に！（K）

訪問看護で訪問している療養者さんに「私たちになくてはならない存在なのに、どうして給料が足りないのかな？私が政治家に言いたいわー」と言われ、そう思ってたことについて話を嬉しく思いました。（富山）

——政治家には、言い続けていくことが大切です。その言葉、富山選出の議員さんに是非伝えて下さい。（MT）

看護学校の教え子達が今年2月

に看護師国家試験を受験し、3年連続で今年も無事、全員合格を果たしました。早々に看護学校の先生から電話でご報告をいただき、嬉しい報告に感無量でした。合格した多くの学生さん達は、私の勤務している病院に入職をされ、今オリエンテーションを受けています。看護師になられた後も協力してあげたりして、これからも見守って応援していきたいと思っています。（北海道）

——教え子の皆様の合格おめでとうございます。また厚生連への入職も大変喜ばしいですね。子ども・若者は国の宝だと思います。沢山の先輩と同じく、今後のご活躍をお祈り致します。（OK）

## 新しい仲間へ共済おすすめ

医療・介護職場に多くの新入職員が入職してきました。全国各地で、労働組合の新人歓迎企画が開催され多くの新人が参加、新しい仲間が増えています。

今年も実施している「みんなの助けあいアンケート」は、今年も多くの新歓で活用され、アンケート用紙が届いています。医労連共済の「資料がほしい」「説明してほしい」との回答は52%と半数を超えており、関心も少なくありません。しっかり活用して、労働組合・医労連共済への加入を呼びかけましょう。

新型コロナウイルスが第5類に位置づけが変更され2年になりますが、新型コロナやインフルエンザ等の感染症はなくなるわけではありません。新人にも病気休業の備えになる医労連共済の魅力を伝えていきましょう。

全厚労X 全国の活動をポスト中!

全厚労HPIはこちら!

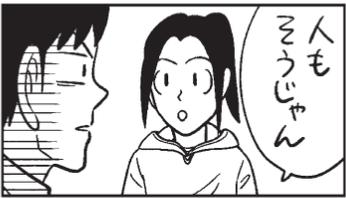
読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品（図書カード又はクオカード）は必須事項です。

先人は豊かな暮らしのために士を耕した。後継者が価値を見誤り、日本人なのにコメをかうのを躊躇する時代にしてしまった。備蓄米を放出し値段が下がると思いきや、高値更新は止まらない。その場しのぎの政策ではどうにもならない。医療はどうだろうか？あとの祭りにならないように価値を知らせな

きや。（HT）

## 教宣部のつぶやき

### 嘆く門は福来る? カクイシ シュンスケ



# ナースウェーブのスタートから36年

## 国民の声を 国会に届け 前進の力に

5月12日のナインティンゲール生誕の日を中心に「看護週間」が設定され、全国各地でナースウェーブ（看護の日行動）が行われています。最近ではメディカルウェーブとも称しています。ナースウェーブは1989年に日本医労連が提起して取り組んで大ムーブメントとなり、看護師確保法・基本指針制定や「看護の日」創設に大きな役割を果たした運動で35年以上続いています。



長野駅に向かったのデモ行進

長野では、5月10日、県看護集会在開催され、全体で140名、長厚労から63名が参加しました。午前中に県医労連伝田書記長の基調報告の後、記念講演では、「NPO法人訪問看護ステーションコスモス」所長の平野智子さんから、「十人十色のいのちを支え、支えられる、を超えた山谷地域での訪問看護」と題して東京都台東区山谷地域（日本医療労働会館からも近いところ）で取り組む「患者・利用者に寄り添う看護」の事例を聞かせていただきました。

秋田では、メディカルウェーブに秋厚労10名+子ども2名を含む25名が参加し、増員署名に取り組み。秋田駅前には賑やかで1時間で174筆集まりました。

茨城では、5月11日午後、水戸駅南口デッキで署名宣伝。茨厚労6名を含む11名が参加し、1時間の行動で増員署名31筆を集めました。署名時の対話では、「自分の子供が水戸で医師をしていて、先ほど会って来た。現場が大変なのは知っています」（女性）、「自分はブ



福島・会津でのナースウェーブ宣伝



茨城・水戸駅前の署名宣伝行動を終えて



広島県庁前に集まる広厚労の仲間



秋田県メディカルウェーブで署名行動



福島では3カ所の会場で21名参加



も2名を含む25名が参加し、増員署名に取り組み。秋田駅前には賑やかで1時間で174筆集まりました。

日本では、第96回メーデーが全国274カ所で開催され、約10万人が結集しました。東京・代々木公園の中央メーデーには、1・4万人が参加し、「最賃は必ず全国一律15000円に」「ケア労働者の大幅賃上げ・大幅増員」などを訴え、2コースでデモ行進しました。

カ所のメーデー集会に福厚労から21名が参加して、署名宣伝行動等も行いました。今年には戦後・被爆80周年、男女雇用機会均等法40年、阪神淡路大震災・サリン事件30周年など節目の年で、世界での侵略・紛争の終結

や、ジェンダー平等の実現、震災復興や差別・分断の克服など、様々な課題での人権的解決が求められる年となります。

## 戦後・被爆80年を節目に、世界の平和と人々の生活を守る年へ 各地でメーデー・アピール

### みんなで歩こう！ 国民平和大行進



雨の中、負けずに歩く大栗書記長

5月6日、今年も東京・夢の島から国民平和大行進がスタート。風雨の強い中でしたが、元氣よく歩きました。



### メーデーの歴史

毎年5月1日に、世界の労働者がその時々を掲げてデモンストレーションを行い、国際連帯の意思を示す統一行動日。1886年5月1日に始まったアメリカのシカゴで8時間労働制を求めた34万人ものストライキが、警察の弾圧により、ストの首謀者とされた4人の労働者の絞首台での死刑という結果を受けて、当時の国際労働者組織である第一次社会主義インターナショナルが、このたたかいを記念して、全世界に5月1日を「メーデーの日」としてデモに立ち上がろうと呼びかけたのが起源。1890年以降、全世界で取り組まれるようになった。日本では1920年に第1回メーデーを開催したが、戦争により36年以降中断し、戦後の46年に復活した。日本では第96回メーデーの年となる。いまでも世界中で、「労働者の祭典」として数多くの労働者が連帯している。



秋田メーデーでのデモ行進